iPadの管理と運用

クラスの管理

生徒のiPadとつながって、
授業をスムーズにする

2026年1月

目次

はじめに 3

スクールワークとクラスルームの特長 4

クラスを作成する前提条件と手順 6

クラスの管理方法 9

プライバシーとセキュリティ 10

関連資料 11

はじめに

iPadを活用して優れた学習体験を実現するには、教師のみなさんのために、適切なツールを導入することが欠かせません。授業を円滑に進めるだけではなく、生徒一人ひとりの進捗を把握し、最適のタイミングでサポートできるよう、Appleではスクールワークやクラスルームといった無料の授業支援アプリを提供しています。管理対象Apple Accountの作成と配付が完了し、iPadの運用が落ち着いてきたら、これらのアプリの使用を検討しましょう。この資料では、スクールワークとクラスルームで実現できることと、そのために必要なクラスの作成手順を紹介します。

スクールワークとクラスルームの特長

スクールワーク

スクールワークは、課題や宿題を配付して回収したり、効率よく共同作業を行うのに適したアプリです。授業外でも生徒とつながることができ、1対1でのやり取りも素早く行えます。また、生徒の学習状況を個別、またはクラス全体で把握できるため、授業中でも授業後でも、個に応じたきめ細やかな指導を行うヒントを掴めます。

主な機能

・生徒に課題を割り当てて収集

・アプリ内のアクティビティを課題に指定

・生徒の進捗状況を確認

・共同作業機能とリアルタイムのフィードバック

・書類をテストとして送信

クラスルーム

クラスルームは、授業を円滑に進めるために、教師のiPadやMacから生徒のiPad上でアクションを実行したり、教材を送受信することのできるアプリです。教室でも、リモートでも、対面とリモートを組み合わせたハイブリッド環境の授業でも使えます。

主な機能

・生徒のiPadのアプリ、ウェブサイト、ブックを開く

・生徒のiPadの画面を表示

・生徒のiPadを消音*

・生徒のiPadをロック*

・生徒のiPadをAirPlay*

・ファイルやリンクの送受信

・生徒のiPadのバッテリー残量低下を表示

・授業後に生徒の活動内容を確認

*同じWi-Fiネットワーク内の対面授業で使える機能です。リモートや、モバイル通信（Cellular）経由で参加する生徒には有効になりません。

クラスを作成する前提条件と手順

スクールワーク、あるいはクラスルームを導入するには、クラスを作成する必要があります。授業が始まる前にスクールワークやクラスルーム、あるいはApple School Managerの管理画面から、教師に担当するクラスを事前に作成してもらいましょう。

クラスの作成を促す際には、教育委員会側であらかじめ命名規則を定めておき、ルールに従ってクラス名を付けてもらいます。また、クラスを作成するには、あらかじめ生徒用の管理対象Apple Accountが作成されている必要があります。スクールワークやクラスルームで作成したクラス構成はApple School Managerに登録されるため、スクールワーク、クラスルームどちらのアプリでも同じクラス構成を利用できます。

・教師が作成する場合（クラスルーム）

教師が直接クラスを作成するには、教師用の管理対象Apple AccountでiPadにサインインしておくことが必要です。

【手順】

1. クラスルームを起動します。クラスを作成したことがある場合は、それらのクラスが表示されます。

2.「クラスを作成」または「＋」をタップし新しいクラスを作成します。クラス名を入力し、そのクラスの場所、アイコン、および背景色を選択し、「完了」をタップします。

3.作成したクラスをタップし、「生徒を追加」をタップします。追加する生徒を選択し、「追加」をタップして完了です。

・教師が作成する場合（スクールワーク）

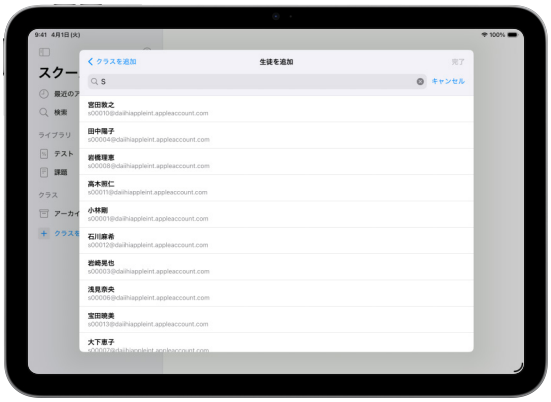
スクールワークを使用するには、教師用の管理対象Apple AccountでiPadにサインインしておく必要があります。

【手順】

1. スクールワークを起動します。この時、スクールワークのサイドバーには
   Apple School Managerで設定したクラスが自動的に表示されます。

2. サイドバーの「クラスを追加」をタップします。クラス名を入力し、そのクラスの場所、
   アイコン、および背景色を選択します。

3. 「生徒」をタップして生徒を追加します。その際、生徒の名前を途中まで入力すると、
   追加する生徒の候補が表示されるので、名前をタップして追加するとスムーズです。
   生徒をすべて追加したら「完了」をタップします。



・Apple School Managerで作成する場合

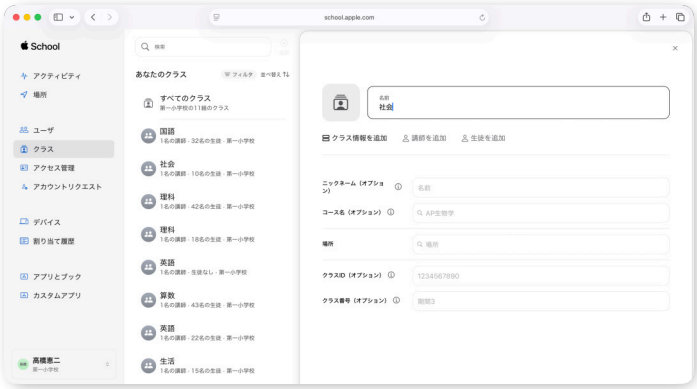
Apple School Manager上でクラスを作成するには、CSVファイルをアップロードする方法と、手動で作成する方法があります。CSVはApple形式とOneRoster形式をサポートしています。また、OneRosterのREST APIにも対応しています。なお、Apple School Managerでクラスを作成および編集できる役割は、「管理者」「サイトマネージャ」「ユーザマネージャ」「マネージャ」「講師」です。

【手動でクラスを作成する手順】

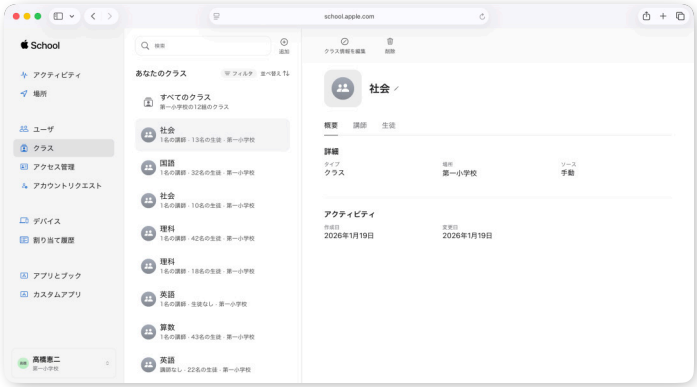
1. Apple School Managerにログインし、サイドバーから「クラス」をクリックします。

2.「⊕」をクリックし、新規クラスを追加します。

3.クラス名を入力し場所を選択します。
任意でニックネーム、コース名、クラスID、クラス番号を入力します。



4.次のステップで「講師を追加」、さらに次のステップで「生徒を追加」し、「クラスを作成」をクリックします。



クラスの管理方法

年度が変わり新入生を迎え入れる時や転入・転出があった場合には、クラスを編集したり削除したりすることができます。

クラスを編集する

手動で作成したクラスのクラス名やクラス名簿は、Apple School Manager、クラスルーム、およびスクールワークから編集が可能です。

CSVファイルのアップロードにより自動作成されたクラスは、Apple School Manager上で編集することはできません。ただしクラス名は変更することができます。

クラスを削除する

手動で作成したクラスは、Apple School Manager、クラスルーム、およびスクールワークで削除できます。CSVファイルのアップロードにより自動作成されたクラスが、アップロード対象から削除された場合、そのクラスから生徒が削除され、ソースは「手動」に切り替わります。

スクールワークで使用していたクラスを削除すると課題やテストはアーカイブされて残りますが、進捗状況データやふりかえりフォームの回答は削除され、利用できなくなります。

年度更新については「iPadの再設定」を参照してください。

プライバシーとセキュリティ

Appleは、教師のみなさんと生徒たちのプライバシー保護に積極的に取り組んでいます。Appleのサービス内のデータは常に強制的に暗号化され、管理対象Apple Accountでの運用ではターゲティング広告がブロックされます。IT担当者はApple School Managerで管理対象Apple Accountとクラス名簿を設定できますが、その際に読み込まれるのは、生徒の名前や登録済みのクラスなど、最小限のデータだけです。

スクールワークで生徒の進捗状況を確認するには、教育機関側でApple School Managerからその機能を有効にする必要があります。生徒の学習履歴で共有されるのは、教師のみなさんが指定したアクティビティについてのみであり、生徒が学校から提供された管理対象Apple Accountを指定デバイスで使用しない限り、記録されることはありません。

関連資料

「教育機関にiPadを整備する」
education-static.apple.com/geo/jp/IT/Deployment_Tasks.pdf

「教えるためのツール」
apple.com/jp/education/k12/teaching-tools/

「スクールワークでクラスを追加、編集、削除する」
support.apple.com/ja-jp/guide/schoolwork-teacher/phx1dfe1cd64/ios

「クラスルーム」でApple School Managerと同期されるクラスを作成する
support.apple.com/ja-jp/guide/classroom/cla622d1f726/web

「Apple School Managerでクラスを手動で作成する」
support.apple.com/ja-jp/guide/apple-school-manager/axmcb80a904b

© 2026 Apple Inc. All rights reserved. AirPlay、Appleのロゴ、iPad、Macは米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。この資料に記載されているその他の製品名および社名は、各社の商標である場合があります。製品仕様は予告なく変更される場合があります。この資料は情報提供のみを目的として提供されます。Appleはこの資料の使用に関する一切の責任を負いません。2026年1月